

大阪府自動車整備振興会（山本昇会長）に所属する南大阪の羽曳野藤井寺・松原・平野・浪速・八尾柏原の各地区会の若手メンバーや有志が集まって、「10年後には自動車整備業は成り立つか」と題し、パネルディスカッションを行なう催しが6日、柏原市のサンヒル柏原で午後6時から開催される。

## 大阪整振八尾柏原地区会

### 10年後の業界テーマに6日

#### パネルディスカッション

経営者たる視点を備え、現場の最前線でエンドユーザーと日常的にコミュニケーションを図っている若手メンバーが集い、10年後に自動車整備業は成り立つかという「非常に難しい、しかし業界を担う若手経営者にとって重要な問題」（馬場会長）を討議する。

自動車整備業界は、ユーズーだけではなく業界に従事する従業員も合わせて高齢化が進むなど課題が山積している。企画した主催者側は、こうした現状を開拓するきっかけにするため、若手経営者や後継者、あるいは新入社員まで幅広い層の参加を募っている。

（馬場敏美会長）が主催する「平成27年度南大阪地区合同勉強会」の一環。大阪自動車青年会議所（柏原隆宏会長）も全面的に協力する。

勉強会では、将来も含め参加を募っている。